

和歌山縣報

第三百五十五號

大正五年三月二十日

○縣令

○和歌山縣令第十三號

左記地域内ニ於テ犬ヲ飼養スル者ハ大正四年二月和歌山縣令第五號畜犬取締規則第九條ニ依リ大正五年九月末日迄之ヲ放飼スルコトヲ禁ス但シ使用又ハ運動ノ爲鎖若ハ綱ヲ付シ索引スルモノ又ハ警察官ノ承認ヲ得タル箝口具ヲ裝套シタルモノハ此ノ限ニ在ラス
本令ハ大正五年四月一日ヨリ施行ス

大正五年三月三十日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

記

- 一、和歌山市
- 一、海草郡
- 一、那賀郡

○訓令

○和歌山縣訓令第八號

和歌山縣公立學校職員職務及服務規程左ノ通相定ム

大正五年三月三十日

和歌山縣知事

鹿子木 小五郎

和歌山縣公立學校職員職務及服務規程

第一條 本規程ニ於テ公立學校ト稱スルハ市町村立小學校、小學校ニ類スル各種學校實業補習學校以外ノ公立學校ヲ謂フ

第二條 本規程ニ於テ監督廳ト稱スルハ縣立學校ニ在リテハ知事郡町村立學校(組合立ヲモ含ム以下同シ)ニ在リハ郡長市立學校ニ在リテハ市長ヲ謂フ

第三條 本規程ニ規定セル以外ノ事項ニシテ公立學校職員ノ服務ニ關スルモノハ總テ官吏服務規律ニ據ル

第四條 學校長ハ法令ノ定ムル所ニ由リ校務ヲ整理シ其職員ヲ統管ス

第五條 教員又ハ囑托員ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ生徒兒童ノ教育ニ從事シ且之レニ關スル事務ヲ掌ル

第六條 舍監ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ寄宿舍生徒ヲ指導監督シ且之レニ關スル事務ニ從事ス
第七條 書記ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ庶務會計ニ從事ス

學校長死亡ノ場合ニ在リテハ當時ノ現在ニ由リ前項ニ準シ上席教諭後任者ト共ニ記錄ヲ調製スヘシ

第二十三條 學校長及職員出勤シタル時ハ直ニ自ラ出勤簿ニ捺印スヘシ

出勤簿ハ學校長ニ於テ日々之レヲ檢閲シ出張疾病遲參等ノ事由ヲ明ニスヘシ

第二十四條 學校長及職員疾病ニ由リ缺勤セントスル時ハ學校長ニ在リテハ監督廳ニ其他ノ職員ニ在リテハ學校長ニ届出スヘシ但疾病ニ由ル缺勤七日ヲ超ユルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付シ爾後七日毎ニ同一ノ手續ヲナスヘシ

第二十五條 學校長又ハ職員私事ノ故障ニ由リ缺勤セントスルトキ又ハ任地ヲ離レントスルトキハ學校長ニ在リテハ監督廳其他ノ職員ニ在リテハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ但許可ヲ受クル邊ナキトキハ事由ヲ具シ其旨届出ツヘシ

第二十六條 學校長又ハ職員學校ノ休業中旅行ヲ爲サントスルトキハ行先及日限ヲ具シ出發前ニ學校長ニ在リテハ監督廳ニ其他ノ職員ニ在リテハ學校長ニ届出ツヘシ

第二十七條 學校又ハ其附近ニ出火其他事變アルトキハ速ニ登校シ警戒防禦ニ從事スヘシ

第二十八條 學校長又ハ職員族籍氏名ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク知事官房並ニ在職學校ニ届出ツヘシ但休職者ニ限リ住所ニ異動ヲ生シタルトキモ亦同シ

第二十九條 學校長又ハ職員ハ知事ノ許可ヲ受クルニ非サレハ本務以外ニ教授ヲ爲スコトヲ得ス

第三十條 校務又ハ教授上ノ必要ニ由リ他ノ學校ト聯合シテ協議會又ハ研究會ヲ開催セントスルトキハ豫メ會期及議題ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クヘシ

附則

本規程ハ大正五年四月一日ヨリ實施ス
明治三十七年六月訓内乙第百二十七號ハ本規程施行ノ日ヨリ之レヲ廢止ス

○ 告 示

○和歌山縣告示第百二號

左記本縣師範學校卒業生ニ對シ各小學校本科正教員免許狀ヲ下付セリ

大正五年三月三十日

和歌山縣知事

鹿子木 小五郎

記

和歌山縣平民

岩 淵 一 利

全

池 内 茂 八 郎

全

池 田 友 吉

全

岩 橋 音 二

全

石 畑 孝 次 郎

全

濱 畑 榮 造

全

西 川 義 雄

全

西 岡 虎 之 助

全

新 田 安 次 郎

全

星 田 楠 松

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
川岸幸太郎	和田力	大森喜代藏	大松岩楠	奥森重行	大浦弘一	小川重利	大森安松	堀田由助	

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
辻内正文	瀧本定吉	田本政吉	谷北榮助	谷口勝之助	田村義光	高岡勝之進	田村七郎	横出榮樹	上手惣平

全	全	全	全	和歌山縣平民	和歌山縣士族	全	全	全	全
上田耕民	直井昇三	中津尹一	中野健	中野正富	中田慎終	中塚元介	津田楠雄	辻本賢三	

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
鎌田都助	栗原善之丞	海堀友治	上本光一	松山磯造	前田亮太郎	前野芳楠	松島藤太郎	山本寛三郎	山崎利吉郎

全	全	全	全	全	全	全	全	全
木村茂一	和歌山縣平民坂本尙吉	和歌山縣土族阪上清重	全阪中和一	全神戶時一	全藤山信一	全藤原勝一	全藪本喜三郎	全山田兵助

全	全	全	全	全	全	全	全	全
森岡廣一	平井糸藏	東本新	美濃越保之助	水島寛	宮西清二	三谷源二	木村喜一	木野光藏

木下壽男

全	全	全	全	全	全	全	全	全
岡本	小川	本多	堀	堀	西	井	生駒	脊戸
リ	春	ス	ヨ	田	艶	本	み	竹
ノ	香	ヘ	シ	峰	枝	ツ	き	七
			エ	代		エ	る	

根來	津田	津村	谷口	田甫	高崎	高	笠野	和歌山縣平民	和歌山縣士族	片山
八重子	よ	村	オ	よ	ヲ	綾	和	加納	信子	藝枝
	ね	庫	ジ	ね	アイ	子	子	子	子	

全	全	全	和歌山縣平民	和歌山縣士族	全	全	全	全	全
淺利せい	小林直代	滿所磯の	前島香	山本みさる	山本はなる	楠本フジ	栗山雅子	中口はなへ	

全	和歌山縣平民	全	和歌山縣士族	全	和歌山縣平民	全	和歌山縣士族	全	全
石井崩	岩橋和夫	森澤益子	島田敏子	宮本まつ	三角幸	三宅卓	佐津川ふみ	佐本カヨ	青木きみ

全	全	全	全	全	全	全	全	全
岩崎長次	原 嬰人	西林邦彦	堀 學雄	岡山縣士族 平松久太郎	和歌山縣平民 脇田 稔	川口光藏	衣岡信一郎	田村俊和

全	全	全	全	全	全	全	全	全
高岡好廉	武内一男	高垣貞一	辻利一郎	土橋義幸	坪野賢三	中通俊二郎	上野幸一	上野寛司
栗本定次郎								

全 全 全 全 全 全 全 全 全 全

久保義尙	山本長太郎	山下義博	山本常助	前島賢一	松本昌一	松下光之助	小林正雄	寺杣譽二郎
------	-------	------	------	------	------	-------	------	-------

全 全 全 全 全 全 全 全 全

明樂清助	乾原毅	崎山勇	坂口齊季	木村孝吉	湯田圭一	宮本幸義	三浦清龍	湊日出吉
------	-----	-----	------	------	------	------	------	------

○和歌山縣告示第百三號

京都府及大阪府ニ於テ左記ノ通狂犬病發生ノ旨通知アリ

大正五年三月三十日

和歌山縣知事

鹿子木 小五郎

番號 獸別 胤種 性 病名

發見日

轉歸月日

診斷方法

發生地

一四九 犬 雜種 牡

病狂犬

二月十日

二月廿二日斃死

接種

入 京都市丸太町通大宮西

三 同 同 牝 同

二月十日

臨床

丁目

大阪市西區南堀江通二

四 同 同 牡 同

一月廿六日

一月十七日斃死

接種

大阪市西區三條通三丁目

五 同 同 同 同

二月九日

二月九日斃死

同

大阪市南區御藏跡町

○和歌山縣告示第百四號

和歌山市新通七丁目四番地

開業產婆

上野山 まつゑ

右今般轉住ノ旨ヲ以テ願出ニ依リ本日左ノ通和歌山縣產婆名簿ヲ訂正ス

大正五年三月三十日

和歌山縣知事

鹿子木 小五郎

和歌山市岡山丁十番地

上野山 まつゑ

○ 辭 令

○大正五年三月二十五日

依願解雇

臨時雇ヲ命ス

日給貳拾錢ヲ給ス

知事官房文書係勤務

岐阜縣へ出向ヲ命ス

雇

牟田泰二郎

増井光三

(各 通)

兼職ヲ免ス

田邊中學校舍監ニ兼任ス

月手當七圓ヲ給ス

田邊中學校舍監心得兼務ヲ命ス

月手當四圓ヲ給ス

和歌山中學校教諭

吉田梅治

田邊中學校教諭兼舍監

平松得一

田邊中學校教諭兼舍監

安並正晴

田邊中學校教諭

森與一

田邊中學校教諭心得

三栖敏

○大正五年三月二十七日

屬 小林宏一

會計規則第九十一條ニ依リ主任收入官吏馬渡俊雄及和歌山警察署分任收入官吏並ニ歳入歳出外現金出納官吏取扱ニ係ル大正四年度現金出納ノ検査員ヲ命ス

(各 通)

(岩出)

那賀郡書記

畑 村 準 平

(橋本)

伊都郡書記

田 村 土 岐 三 郎

(湯淺)

有田郡書記

林 利 三 郎

(御坊)

日高郡書記

鹽 崎 彦 太 郎

(田邊)

西牟婁郡書記

中 田 興 八

(新宮)

東牟婁郡書記

岡 本 米 太 郎

會計規則第九十一條ニ依リ(各頭書)警察署分任收入官吏並ニ歳入歳出外現金出納官吏取扱ニ係ル
大正四年度現金出納ノ検査員ヲ命ス

○町村吏員ノ異動

○大正五年三月二十四日認可

那賀郡池田村 役

森 中 吉 松

○大正五年二月二十九日退職認可

西牟婁郡二川村助役

大 江 金 兵 衛

○大正五年三月二十九日就職認可

西牟婁郡朝來村助役

堀 惣 八

西牟婁郡二川村有給助役

大 江 直 之 助

○彙 報

○官廳事項

○和歌山地方森林會議員左ノ通任命アリタリ

(各 通)

地方森林會規則第三條第二項第六號ニ依リ和歌山地方森林會議員ヲ命ス

勳七等

橘 吉右衛門

(各 通)

勳七等

海瀨 龜太郎

植松 新十郎

地方森林會規則第三條第二項第七號ニ依リ和歌山地方森林會議員ヲ命ス

大正五年三月十五日

農 商 務 省

伊都郡戀野第一尋常高等小學校訓導兼校長

名 迫 行 輝

其學校職員當直中慢ニ外出シ其不在中校舎焼失シ畏クモ御眞影奉還スルヲ得サリシハ學校長トシ
テ職員統督ヲ怠リタルノ責ヲ免ル可ラス仍テ小學校令第四十八條ニ依リ二箇月間俸給月額十分ノ
一ヲ減ス

大正五年三月八日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

伊都郡戀野第一尋常高等小學校訓導

前田 圓次郎

右者大正五年二月二十五日夜當直中慢ニ外出シ其不在中火ヲ失シ校舎焼失シ畏クモ御眞影奉還ノ違ナカリシハ職務上ノ義務ヲ荒懈セルモノナリ仍テ小學校令第四十八條ニ依リ五箇月間俸給月額三分ノ一ヲ減ス

大正五年三月八日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

日高郡宮代尋常小學校訓導兼校長

栗原 治郎吉

右者大正四年十二月十四日學校湯沸場ヨリ火ヲ失シテ遂ニ校舎焼失スルニ到ラシメシハ平素學校管理不行届ノ結果ニシテ職務ヲ怠リタルモノナリ仍テ小學校令第四十八條ニ依リ譴責ス

大正五年三月二十五日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

宮崎縣へ移住手續ニ關スル件

和歌山縣ニ原籍ヲ有スル者ニシ宮崎縣へ移住希望ヲ有シ其ノ手續ニ付同縣へ照會スル者近來漸ク増加シタルヲ以テ從來他府縣ヨリノ移住申込ニ對スル取扱方ノ例ニ依リ左記要領ノ趣旨ニ據ラシタラレ度旨同縣ヨリ照會シ來リタリ移住地ノ事情手續等不明ノ廉ハ和歌山縣廳內務部勸業課へ照會セラルヘシ

記

一、宮崎縣ニ於テ移住收容地トシテ豫定セルハ兒湯郡川南村及東諸縣郡八代村內薩摩原ノ二ヶ所ナリ

二、宮崎縣下ニ移住セムトスル者ニシテ左ノ資格アル者ニ限リ相當ノ便宜ヲ與ヘ土地ノ買入苗入小屋掛等ニ對シ仲介ノ勞ヲ採ルヘキニ依リ移住希望ノ農家ハ適宜申込書ヲ作り地元町村長ノ證明ヲ得テ所轄縣廳ヲ經テ宮崎縣廳ニ提出スヘシ

三、移民ノ資格

(イ) 移住資金トシテ旅費、家屋、農用牛、馬、農具其ノ他農業ノ設備費並初回ノ收穫迄ノ食費雜費ヲ支辨シ得ル資金ヲ有スル者(最少限約百五六十圓)

(ロ) 移住後農業ヲ專業トシ永住ノ目的決心ヲ有スル者

(ハ) 酒癖其他賭博等惡習ナキ者

(ニ) 一戸内ニ於テ非勞働者ノ數カ勞働者ノ數ニ超過セサルモノ

四、前項ノ申込書ニハ當該府縣ニ於テ調査シタル身元調査書ノ添付ヲ要ス

五、縣ノ仲介移民トシテノ採否ハ該府縣ノ上通知ヲナス

六、縣ノ仲介民トシテ採用移住シタル者ニシテ家屋ノ建築ヲ終ヘ全戸移住ノ上耕作ニ着手シ一定地ニ永住スヘキ者ト認メタルトキハ小屋掛料トシテ一戸ニ付金拾圓ヲ支給ス

七、薩摩原耕地整理地區内耕地ノ幾分ハ希望ニ依リ賣渡ノ需ニ應スルノミナラス土地讓渡ノ契約ニ依リテ土地ノ分讓ヲナス

○ 正 誤

大正五年三月縣令第十二號和歌山縣稅賦課細則中左ノ通り正誤ス

箇所各次行號ノ別

誤

正

第一條第二項中

若クハ

若ハ

第二條第二行中

決定シタル

決定ヲ受ケタル

全條第一號中

鐵道業

鐵道業ハ

全條第二號ノ末尾

細則

細別

第四條第二行中

廢車場合

廢車ノ場合

第五條中

八坪未満荷積

八坪未満ノ荷積

第十六條第一行中

牡蠣ノ

蠣牡稅ノ

第十八條中

口ヲ以テ

口頭ヲ以テ

第二十三條

木稅川下稅

木材川下稅

○大正五年三月後半上半期氣象表(前年對照)

和歌山測候所觀測

日	年別	氣壓	平均	最高	最低	平均	降水量	日照時間	平均風速	最多風向	記	事
一	前年七六二・八	二・三	五・五	八・八	二・一	七・〇	三・〇	四・八	五・三	北々西	早曉西風吹キ正午前後急雪午後西方海鳴	
二	前年七五八・六	五・九	八・一	三・〇	一・四	七・一	一・七	四・二	四・五	北々西	終日西方海鳴午前急雨午後降雪夜霧	
三	前年七五八・六	三・五	七・八	〇・六	〇・六	六・九	二・四	七・六	三・八	西北西	曉霧夜霧午前西ノ強風吹キ終日海鳴雪散	
四	前年七六四・六	四・九	九・三	〇・八	〇・六	六・五	〇・二	九・三	四・六	西北西	曉霧朝間雪終日降雪午前西方海鳴	
五	前年七六二・七	九・一	一・四	一・一	一・五	七・〇	一・三	九・二	五・四	東北東	拂曉來南風雨正午前暴風雨トナリ直ニ止ム	
六	前年七五九・六	七・四	一・三	三・五	三・五	六・六	二・六	六・四	四・五	北々西	午前西方海鳴、曉間月光現、小雨、午後降	
七	前年七六三・九	四・八	一・八	四・一	四・一	六・二	〇・〇	七・六	三・一	北々西	早曉霧午前西方海鳴、朝間雨雪夕刻ノ霧	
八	前年七六三・八	五・九	一・七	二・九	二・九	六・八	一・五	七・一	三・八	西北西	曉霧午前西方海鳴、朝間雨雪夕刻ノ霧	
九	前年七六六・三	五・一	一・九	五・九	五・九	六・〇	七・八	四・九	二・五	東北東	午前霧朝來降雨午後夜南方雪	
十	前年七六四・二	六・七	一・三	〇・八	〇・八	六・八	一・一	五・〇	三・一	東北東	夜霧夜間降雨	
十一	前年七五九・七	六・九	一・二	二・四	二・五	七・八	二・一	四・五	四・七	東北東	朝間雨霧、夜間霧ナ結ブ	

六十一日	平均	前年七六二・〇 本年七三六・六	八・七 五・八	〇・三 一・五	一・三 一・六	七〇・一 六七・三	一・三 一・七	二・六 二・三	三・一 三・一	三・二 三・二	東北東 東北東
十二日	前年七六四・二 本年七六四・二	八・八 七・八	〇・三 一・三	一・四 一・六	七・八 七・八	〇・七 〇・四	二・三 二・三	二・八 二・八	三・〇 二・六	三・〇 二・六	東北東 東北東
十三日	前年七六〇・八 本年七六三・八	八・五 八・〇	〇・九 〇・七	五・二 五・四	八・一 七・九	三・六 三・八	二・四 二・六	四・五 四・五	四・八 四・八	四・八 四・八	北 北
十四日	前年七六四・五 本年七六三・一	六・三 六・四	一・八 一・〇	三・〇 三・七	六・〇 六・六	二・一 二・一	三・八 三・九	五・五 五・五	六・一 六・一	六・一 六・一	北 北
十五日	前年七六七・五 本年七六一・六	五・三 五・二	九・七 九・七	一・〇 一・六	六・八 六・八	一・二 一・二	五・七 五・二	二・五 二・〇	二・五 二・〇	二・五 二・〇	北 北

雜記

前月末暴風雨ナリ起シタル低氣壓ハ一日宗谷海峡ニ達シ益々深厚トナリ大陸高氣壓ハ支那北部ヨリ東海ニ擴張シ氣壓ノ傾斜急峻
二日蒙古方面ニ高氣壓ハシタル低氣壓ハ海ヨリ朝鮮半島ナ横ガリ四日朝鮮國陸ノ南方ニ達シ而シテ琉球ニ在リ高氣壓ハ東漸シテ
南東方面ニ古有セル故ニ拂曉來雨ノ風雨ニ起シ正午前後時烈風雨トナリテ直ニヤム
十日楊子江域ヨリ來リ低氣壓ハ夜間熊野沖ヲ東方ニ突進セルガ故ニ夕刻ヨリ降雨ヲ僅フシ夜半大雨ヲ突ヘ翌朝ニ及ブ

大正五年三月二十九日
大正五年三月三十日
大正五年三月三十一日

大正五年三月三十一日

和歌山縣知事官房

和歌山市北休町六番地
和歌山市北休町六番地